

平成28年12月12日  
(2016年)

保護者の皆さまへ

吹田市立佐井寺小学校  
校長 津田 一司

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「平成28年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と算数に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査の分析と改善方策

#### 《概要》

- ◇国語A・B、算数A・Bともに全国値を上回っており、良好な成績であった。
- ◇2教科とも無解答率は全国値に比べて非常に低く、学習に対して前向きに取り組む姿勢が表れている。
- ◇学力分布は全国値と比べて、国語・算数では低位層が少なく高位層が多い。
- ◇A問題・B問題の分布は昨年度と変わらない。A問題においては正答数の低い児童はほとんどなく右肩上がりの山形になっており、正答数の高い子どもの層が多い。それに対してB問題は、正答数の低い子ども（3問以下）もわずかではあるが存在している。

#### 《国語における成果（○）と課題（■）》

##### 【話すこと・聞くこと】

- 「目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う」ことは概ねできている。
- 「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する」ことに課題がある。

##### 【書くこと】

- 「目的や意図に応じて、書く事柄を整理する」ことは概ねできている。
- 「グラフを基に、分かったことを的確に書く」ことに課題がある。

##### 【読むこと】

- 「目的に応じて、図と表とを関係付けて読む」は概ねできている。
- 「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」に一部課題がある。

##### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- 漢字を書くこと読むことについてはほとんどの児童が正答しており、定着が見られる。

- ローマ字を読む・書くことで、全国値よりも上回っているものの、促音拗音などの表現について課題がある。

### 《国語科における今後の改善点》

◇話を聞いて、要点をまとめたり、自分の考えと他者の考えを比較し、要点を整理することについては概ね理解できている。これは、本校がこれまで取り組んできた「協同的探求学習」の成果といえる。

◇今後も、一人で考え、友だちと意見交流し、全体で話し合いの内容を交流することを大切に授業に取り組んでいくことが大切である。

◇図やグラフなどから、必要な情報を選び取り、その事柄からわかったことを書くことについては全国より上回っているものの、正答率は低く課題である。このことを踏まえ、国語だけではなく、他教科の中でも図やグラフなどの資料から読み解くポイントを授業の中でつかませながら、思考力を高め、表現する機会を設けていくことがより一層必要である。

◇ローマ字については、指導期間中だけでなく、コンピュータを使用した授業の時間を活用し反復することが大切だと考える。

### 《算数における成果（○）と課題（■）》

#### 【数と計算】

○不等号についての理解はほとんどの児童ができています。

■「示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる」に課題がある。

#### 【量と測定】

○三角形の底辺と高さの関係については概ね理解している。

■「示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる」に課題がある。

#### 【図形】

○「正方形に内接する円の半径」について概ね理解している。

■「図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる」に課題がある。

#### 【数量関係】

○「示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる」については概ね理解している。

■「グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述できる」に課題がある。

### 《算数科における今後の改善点》

◇知識に関する問題については正答率が高いが、活用に関する問題については課題が散見される。

◇どの領域においても、「説明すること」「理由を記述すること」に課題がある。児童質問紙では自分の考えを発表したり、全体で交流したりする機会については、肯定的意見が多く、日常の授業でそういった場面を取り入れていることは一定評価されるが、授業の中で児童が主体的に考えを発表する機会をこれからも継続するだけでなく、一人ひとりが説明する機会をペアやグループ活動でも活用し、思考力や表現力を高めていく必要がある。

◇日常の授業の「振り返り」活動で、自分が納得して理解したことを文章に書く活動を積み重ねていくことも、記述問題の課題に対する1つの方策である。

◇図形の特徴を実感的に理解できるように色板並べや折り紙を使った形作りなど、同じ形の図形を多数利用しての具体物を用いた活動を大切によりする必要がある。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査結果（成果：○ 課題：■）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に対する調査です。「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した合計を肯定的回答として分析しています。

### 【基本的生活習慣・家庭学習・家庭環境】

- 「家の人と学校の出来事について話をしますか」については、全国平均を上回り昨年度よりも高くなっている。
- テレビ・ビデオ・インターネット・テレビゲームに3時間以上使う割合は全国平均を下回っている。また、テレビゲームを3時間以上している児童の割合が昨年度に比べて9%近く減少している。
  - \*意識して子どもと関わる時間をとる家庭が増えている。
- 「地域行事に参加する」・「地域社会などのボランティア活動などに参加する」については、全国平均を下回る結果となったが、ボランティア活動への参加は全国平均に近い値となっている。
- 「同じ時刻に起きる」「同じ時刻に寝る」については、若干ではあるが全国値を下回る結果となっている。

### 【自分自身に関すること】

- 「学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりを決めたり、みんなで協力して何かをやり遂げることに満足している」ことについて8割の児童が満足をしている。
- 「自分によいところがある」「将来の夢や目標をもっている」など自己肯定感に関連することについては、「当てはまる」と回答した割合が年々増加し、「将来の夢・・・」の項目については、全国平均を上回っている。
- 「学校の決まりを守っている」については、全国平均を上回るとともに、昨年度より10%以上伸びている。
- 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」については、昨年度同様全国平均を下回っている。

### 【授業や学習について】

- 「国語・算数の勉強が大切だと思いますか」については、9割を超える児童が肯定的回答をしている。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」については、今年度全国平均を超えたが、今後一層伸ばす必要がある。
- 「読書は好きですか」については、昨年度は全国平均を大きく上回っていた。今年度は全国平均を若干上回っている。
- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」については、昨年よりも下がり、全国平均を下回っている。

### 《今後の改善点》

◇子どもの状況を家庭と十分に共有し、子どもの就寝時間や読書時間、ゲームの時間など子ども達の生活の改善に家庭と連携を図りながら進めていく。  
◇自分自身に関する項目については、年々改善が進んでいる。今後も運動会や音楽会などの学校行事や委員会活動等で子ども一人ひとりに明確な目標を持たせて取り組み、達成感や充実感を味わう経験を積み重ねるなかから、自分自身に自信を持たせ自己肯定感を高めていきたい。  
◇「決まりを守る」項目については今年度大きく伸びた。今後も決まりを守る理由を子どもたちにしっかりと伝えて、守らせていきたい。

### 3 今後の取り組み

#### 《学校では》

- ☆本校では引き続き、児童が自ら考え友だちと交流し、発表する形態の授業の工夫や、理由や方法を考え、試行錯誤する機会を意図的に作り、学ぶ意欲を高める授業づくりを進めます。
- ☆今後も研究授業・研究討議などに取り組み、自己研鑽に励み授業力の向上に努めます。
- ☆生活環境や学習習慣等の結果を踏まえ、読書指導を充実させ、自学自習をより楽しく身近なものとなるよう啓発していきます。
- ☆佐井寺小学校では地域の行事が多数催されているところから、参加の機会はたくさんあるので、情報提供、周知を様々な機会に行っていきます。

#### 《家庭では》

- ☆これまでも様々な場面を通して子どもへの賞賛や励ましの声を家庭でもかけていただきました。今後も子どもとのコミュニケーションをしっかりと取っていただき、子どものやる気を引き出す声かけをお願いします。
- ☆家庭学習については、「家庭学習の手引き」を活用していただき、習慣づけをお願いします。
- ☆「早寝・早起き・朝ご飯」に表される生活習慣については、学校生活を支える大きな力となりますので、保護者のしっかりとした支えが不可欠です。これからもよろしくお願いします。
- ☆本校は地域行事が盛んな学校です。日常接することが少ない地域の大人と直接関わることは多くのことを学ぶ機会だと思っておりますので、ぜひ、多くの子どもたちに参加をして欲しいと思っております。